



読書週間。今年の標語は「本に恋する季節です！」

文化の日をはさんでの2週間は「読書週間」。なお一層の図書館利用を！



読書週間記念行事

本と雑誌のリユース  
10月29日(日) 図書館1階

一日図書館員体験  
11月5日(日)  
小学生対象  
参加受付は前日まで図書館カウンターで

うちのネコ展 開催



あなたのかわいい家族を紹介してください。ネコちゃん写真大募集。

お預かりした写真で「うちのネコ展」を開催します。

○展示期間：11月2日(木)～11月27日(月)

○写真募集期間：10月30日まで

○図書館に応募用紙を用意しています。

行事のお知らせ

- 『趣味と教養の歴史講座』  
10月4日(水)、18日(水)
- 『初級古文書講座』  
10月14日(土)、28日(土)
- おはなし会  
『おはなしくまさん』  
日時：10月14日(土) 11:00～  
『おおきなかぶのへや』  
日時：10月28日(土) 11:00～
- 上映会  
『ぼくは王さま そうのたまごとにせもの王さま』  
日時：10月21日(土) 14:00～

10月の休館日

定期休館日  
3日、10日、17日、24日、31日(火曜日)  
月末館内整理日  
10月2日(月曜日)、11月1日(水曜日)

新着本から

望郷と鎮魂の歌が織りなす「奇跡」

奇跡の歌—戦争と望郷とペギー葉山

門田 隆将【著】



2017年4月に急逝した歌手・ペギー葉山。代表曲『南国土佐を後にして』の譜面を胸に抱いて天へ召された。

同曲のルーツは、戦争中に中国戦線の兵隊たちによってつくられた『南国節』にさかのぼる。元兵士が述懐する極限の戦場、生と死の狭間にいた若者たちが異国の地で故郷を忍び、家族に思いを馳せながら歌い継いだ「望郷の歌」は、同時に仲間への「鎮魂歌」でもあった。ペギーが、激戦に次ぐ激戦のさなかに生まれたこの歌に出会ったのは、偶然だったのか、それとも必然だったのか。

自身もまた戦争に翻弄された少女時代を送ったペギーによって新たな「命」を吹き込まれた『南国土佐を後にして』が国民的なヒットとなったことで、新しい曲が発見された。そしてその曲が、東日本大震災の被災者たちを勇気づけ、大きな影響を与えていく。戦地の若者が口ずさんだ歌の誕生から実に80年近くを経ても、多くの名もなき人々が共鳴し合う奇跡の物語は脈々と続いていた。丹念な取材と構成で明かされる、忘れ去れていた日本人の優しき心とは――